

ウィズコロナに向けて

第二回目の辟易会神奈川県支部会（2012年）の写真です。花は私の妻が仕上げたものです。花から愛を感じ、会が盛会裏に進行することの熱い願いを思い抱いたものです。鷲山先生の笑みにこれからの会が、順調に進行することの思いを、今この写真を見て感じています。コロナコロナで会が進行できずにいました。これからこれからと心を強くし邁進して参りましょう。皆様の様々な立場でのご活躍をご期待し応援して参ります。これが私たちの心意気です。（東京学芸大学辟雍会神奈川県支部長 萱野政徳）



神奈川県支部の総会記録、今回は2019（令和元）年第9回です。

歴史ある開港の地・神奈川は遅しく歩む!!

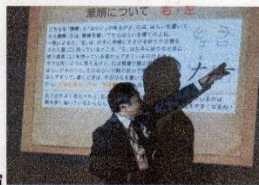
辟雍会神奈川支部

令和元年11月15日



会員の木村則夫先生による講演

『令和の年初初めての総会懇親会』
大学より二宮修治先生ご参会の下に充実した9回目の会でした。次年度10回目を目指すべく充実した頼もしい会になりました。



「書の四方山話」「書とは・・・」から始まり「字源について・常用漢字 について・筆順についての四方山話」を博学の下自分の学びの世界から現実を凝視したお話でした。自ら筆を手にし具体的な書を示しました。「辟雍」を書にし皆で集合写真を撮りました。

✧参加者からは自己紹介✧

「何年卒何科、何を学び今生きている」



「心和ます懇親会」

10周年に向けてのあり方について話し合いました。



FACEBOOK (<https://www.facebook.com/TGU.hekiyo.kanagawa/>) 辟雍会神奈川県支部



十三夜も過ぎて、街路樹の実も色づき、20℃を越えない日々が続き秋本番を迎えましたが皆様お変わりなくお過ごしのことと思います。

教育実習も本番かと思いますが、県内の高等学校では、保健体育の実技の授業も男女共修化とのことで、ソフトボールやテニスといった種目も男女一緒に学ぶようになってきました。打球の強さなどこれまで以上の配慮が必要な部分もありながら、時代の変化は確実に進んでいるように感じました。

goto 何とやらでコロナ禍からの脱出も、インフルエンザとの兼ね合いが心配されます。幼稚園の運動会を見かけました。



マスク着用の範囲を見直したり、責任ある立場でご苦労されている方もありますが、いい情報があれば皆様と共有したいので

事務局までお知らせください。